



今月は **順送チームのK・K** を紹介します!!

今月は順送チームの排出に関する改善の紹介です。

順送チームでは自動運転を多く行うため、製品やスクラップをスムーズに排出することが重要です。

今月はそんな、排出に関する改善を紹介します。

P417 ホイルなどに使用する「スプリング受け(小)」ですが、トランスファ加工の後ベルトコンベアでホッパーに一旦ストックします。

このとき、ベルトの上で製品が滑り詰まってしまって、ベルトコンベアから製品が溢れ出すというトラブルが頻発していました。



このトラブルを回避するため、製品がベルトの上で滑らないようにコンベアのベルトにマグネットテープを貼り付ければよいのではないかと考えました。

マグネットテープの厚さや先端の形状を工夫してコンベアに貼り付けることによって製品が滑らなくなり、コンベアが詰まって製品があふれるトラブルを減らすことができました。



順送では加工時に出るスクラップをシューターを利用してスクラップコンベアに流しています。

250tのシューターに貼り付けているエンボスプレートが老朽化で隙間ができたりデコボコになった部分があったりしており、スクラップ詰まりがよく発生していました。



老朽化しているエンボスプレートを貼り替え、シューター側面の傷んだ部分を交換、さらにプレス機とシューターの間隙間にスクラップが入り込まないようなカバーも取り付けました。

これらの補修でスクラップが詰まることがなくなり、生産がスムーズにできるようになりました。